



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.59

Edition June 25th, 2018

パンアメリカ選手権大会

■パンアメリカ選手権大会

6月12日(火)から19日(火)まで、パンアメリカシニア空手道選手権大会出席のため、南米チリ・サンチアゴに出張しました。

パンアメリカ空手連盟(PKF)は北・中・南米にわたる大陸連盟で、37の国と地域が加盟しています。2016年は夏季オリンピック(リオデジャネイロ)、2017年はIOC総会(リマ)、本年はユースオリンピック(ブエノスアイレス)、2019年はパンアメリカンゲームズ(リマ)が開催され、IOCの重要行事が近年この地域に集中しています。

かねてから中南米の空手選手はWKF大会において芳しい成績を収めており、それに加えて北米も急激にレベルを上げています。

今大会で特筆すべき点は、カナダが男子団体組手で初優勝を果たしたことが挙げられます。また、個人形優勝のアントニオ・ディアス選手(ベネズエラ)、國米櫻選手(アメリカ)は、決勝戦でも完成度の高い形で圧勝しました。とりわけディアス選手は、不必要な呼吸や道着を叩く等の無駄な動きを極力排除した、素晴らしい形を演武していました。

■在チリ日本大使館表敬

15日(金)にはPKFのホセ・ガルシア・マニオン会長、ウィリアム・ミラーソン名誉会長、チリ空手連盟マリア・アンジェリカ・コロニル会長と在チリ日本大使館を表敬訪問し、平石好伸・特命全権大使と懇談の機会を持ちました。大使からは、



右から、平石大使、高橋広報文化担当官、地元チリ連盟のマリア会長、ガルシア・マニオンPKF会長、ミラーソンPKF名誉会長、奈藏。



男子形優勝のディアス選手、素晴らしい演武でした。

「2024年を見据え、東京2020オリンピック成功に大いに期待を寄せている。WKFとして力強く空手を推進してほしい」とのコメントを頂きました。

チリのマリア会長からは、本年9月にサンチアゴで開催されるKarate1シリーズAに平石大使をぜひ招待したいとの意向を伝え、空手を通じた両国の交流が深まりそうです。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔久

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp